

報道関係各位

2002年5月30日
株式会社WOWOW

『TOYD (トイド)』第39回ギャラクシー大賞を受賞

3月24日(日)にWOWOWで放送いたしましたWOWOWオリジナルドラマ『TOYD (トイド)』が放送批評懇談会より、第39回ギャラクシー賞テレビ部門で大賞に選出されました。ドキュメンタリー作品も含みテレビ部門199作品の中からの大賞受賞となります。

大賞の受賞理由は、「現代の病理をエンターテインメント性を持たせながら浮き彫りにした」というものです。

このWOWOWオリジナルドラマ『TOYD (トイド)』は、家庭用ロボット犬の人気などで身近に感じられるようになったロボットと、爆発的に普及し、ますます進化する携帯電話を組み合わせる連続密室殺人事件を軸に、人と人とのふれあい、親子の絆を改めて世に問うミステリーホラーです。

監督は森淳一。脚本は香川まさひと。主演は内藤剛志と櫻井淳子。物語の鍵を握る子役は1000通を超す応募からオーディションにより選ばれた石田未来、森脇史登。

同番組は、8月8日(木)午後10時30分からリピート放送を予定しております。

また今回『TOYD (トイド)』大賞受賞とともに、昨年8月放送の『ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2001』も奨励賞に選出されました。

WOWOWは今後とも、映画、音楽、スポーツ、オリジナルドラマを始め、数々のエンターテインメントを視聴者の皆さまにお届けしてまいります。